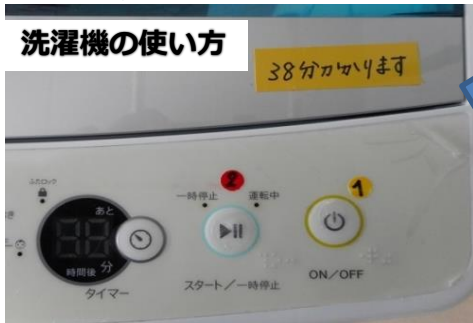


日常生活指導の紹介

寄宿舎では基本的な生活習慣の定着を目指し、一人一人の実態に応じた生活指導を行っています。今回は、家庭でも活用できる洗濯と衣類整理のツールを紹介します。

《衣類整理》

洗濯機の使い方



スイッチを押す順番を表記しています。色の違うシールを使用することで、数字が苦手な人は色で分かるように工夫しています。シールを好きなキャラクターや食べ物にするなどの工夫をすることで、興味をもって取り組むきっかけづくりにもよいと思います。

ピンチハンガーの干し方



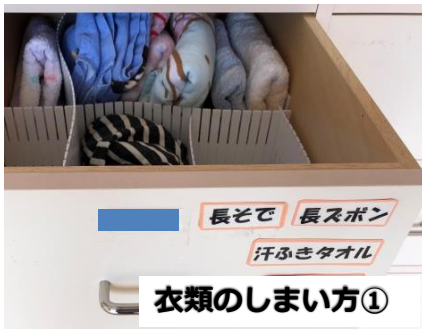
洗濯時間の確認



タイマーを使用することで、洗濯が終わる時間を目と耳両方で確認できます。終了時間がわかることで、見通しをもてたり、干し忘れを防いだりするのに有効です。

同じ色のシールの洗濯ばさみを使って干すことで、洗濯物を広げて干すことができ、洗濯物の干し方やハンガーの使い方も身に付きます。ハンカチなど洗濯物の写真や絵を使用するなど、実態に応じて工夫をしています。

《洗濯》



たんすの引き出しに入っている物を表示することで、入れる場所がわかります。たんすの中にもしきりをしたり、文字や絵などのインデックスを付けたりなど、一人で取り組めるように工夫をしています。



衣類に応じたたたみ方の手順表を使って練習をしています。Tシャツ、ズボンなど手順を一枚にまとめることで、見ながらたたむことができます。たたみ方を複数提示する、たたむときのポイントにマークを付けてわかりやすくするなどの工夫をしています。